

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
168	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
Estimated effect of alcohol pricing policies on health and health economic outcomes in England: an epidemiological model. イギリスにおけるアルコールの価格政策の効果と健康経済効果の見込みについて 疫学モデルより	
執筆者	
Purshouse RC, Meier PS, Brennan A, Taylor KB, Rafia R.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Lancet. 2010 Apr 17;375(9723):1355-64. Epub 2010 Mar 24.	
キーワード	
アルコール、価格政策、経済効果、医療費コスト、疫学	
<b>要 旨</b>	
<b>目的：</b> アルコールの価格政策が有効なことはよく知られているが、タイプの異なる飲酒者に対して特異的な介入が健康関連の生活の質や医療費コストに有効である事はあまり知られていない。この研究ではアルコールの価格と政策における効果を色々な集団におけるサブグループにおいて検討した。	
<b>方法：</b> イギリスの一般家族における一般的な食事と、平均的飲酒量と最大量などのデータから疫学的な数学モデルを作成し 18 の価格政策について検討した。私たちは、飲酒量の政策効果を検討するのにエコノメトリック分析(256 の独自の価格と交差している計量経済学)結果を使用した。 この研究では、体系だったレビューとメタアナリシス、もしくは一部分の影響と考えられるリスク要因を、47 の病気の予防や死亡率の変化を飲酒量の変化によって効果をみるためのモデルに適応させた。	
<b>結果：</b> すべての集団におけるサブグループにおいて、一般的な値段の引き上げは飲酒量の減少、ヘルスケアのコスト、健康関連の生活の質において有効であった。 最低限の価格政策は節度のある飲酒者に飲酒効果を減少させるが、有害であるほど飲酒する者にはこのレベルを維持することは効果がある。スーパーマーケットと酒類販売免許の総合的な禁止令は効果的ではあるが、大幅な割引だけを禁止するという事について、効果はほとんどない。18 歳から 24 歳の若い飲酒者にとってはパブやバーにおける値上げ政策は特に効果的である。 最低限の価格政策と、割引の制約は考察をさらに根拠付けるものになるかもしれない、なぜなら双方の戦略は飲酒量の減少させるためだけでなく、健康被害を最も受ける飲酒者の健康に関連した支出にも影響を及ぼすと考えられるからである。	